

2014年6月5日

テバ製薬株式会社

テバファーマスーティカル株式会社

この資料は、2014年6月2日にテバ本社（イスラエル）が発表した報道資料の邦訳です。
訳に齟齬が生じる場合、原文が優先されます。

テバ社、新体制とシニアリーダーシップの変更を発表
テバ社のグローバル組織を統率し、短期的および長期的な価値の創造を可能に
新設したグローバル・ジェネリック医薬品グループの責任者兼CEOとして
SIGURDUR OLAFSSONを任命

- ・新設となる、グローバル・ジェネリック医薬品グループは、全世界の商業活動を担当
- ・幅広い視野に立つコーポレート・デベロップメント・ストラテジー・アンド・イノベーション・グループを新設
- ・グローバル・コーポレート・マーケティング・エクセレンス・アンド・コミュニケーション・グループを設立
- ・グローバル・ヘッド・オブ・クオリティを新たに任命
- ・組織統合により、テバのエグゼクティブ・コミッティーが15人から9人へ

2014年6月2日、エルサレムーテバファーマスーティカル・インダストリーズ・リミテッド（NYSE：TEVA）＜以下、「テバ社」＞はシームレスなグローバル規模での統合と選択と集中、そして社内横断的な効率性の向上を目的として新組織体制とリーダーシップチームを発表しました。この変更は7月1日付で有効になります。

これらの変更は、テバ社の戦略的方向性を決定づける重要なものであり、最も効率よく、革新的でかつ他社との差別化が図れる手法を用い、グローバル市場で刻々と変化する患者さんのニーズに応えられる複雑性を排除し統率のとれたテバ社を創りあげます。テバ社の事業部門の全てが足並みを揃えて会社の基盤を堅固なものにする有機的成長を推進し、その生産ネットワークの変革と統合を加速します。収益性を改善し、テバ社の新たな未来を創るサポートするためのインフラを構築しながら、テバ社のグローバルリーダーとしてのポジションを確実なものとしします。

テバ社の社長兼CEOである **Erez Vigodman** は次のように述べています。「新しい組織体制とリーダーシップチームにより、持続的な成長をもたらし、短期的および長期的な価値の創出に向けて、よりよいテバ社のポジションを確立します。私たちは全ての事業活動を統率することに

より既存の資産と能力およびそしてその活用の機会を最大化します。テバ社のグローバルな研究開発と生産部門の活用はもちろんですが、特に重要なのはジェネリック事業およびスペシャリティ事業の連携です」

2014年7月1日付で、テバ社は2つのコマーシャルビジネスユニットに先導されます。1つは2013年4月に設立されたグローバル・スペシャリティ・メディシン（GSM）。もう1つは新設となる、グローバル・ジェネリック・メディシン（GGM）です。

グローバル・ジェネリック・メディシン（GGM）

GGM は全世界のジェネリック事業に対して責任を負います。これにはポートフォリオの選択と管理、製品の上市や商業活動の実施が含まれます。テバ社の各国のジェネリック事業を一元管理することで、私たちのジェネリック事業への強いフォーカスとコミットメントを強調します。また、以下の実現のために私たちのグローバル・ジェネリック医薬品事業のスケールメリットを活用します。有機的な成長のサポート、効率的なサプライチェーンの運用と実現、ポートフォリオ選択と開発の最適化、新しく画期的な製品と市場参入モデルの開発。これは当社のグローバル R&D と生産部門との緊密な連携と統合強化によって行われます。また、テバ社と P&G による独創的な合弁会社が主導する OTC 事業についても、GGM が責任を負います。

この度新設された GGM の責任者兼 CEO に **Sigurdur Olafsson** を迎えることを発表できることは、非常に喜ばしいことです。Olafsson 氏は、7月1日付でこの職に就き、米国に拠点を置きます。彼は製薬業界において 20 年以上にわたるエグゼクティブとしての豊富で多彩な経験を有し、前職ではアクタビス社の社長を務めました。

グローバル・スペシャリティ・メディシン（GSM）

GSM は、Dr. Rob Koremans が率いる、有機的な成長を促進していくグローバル・スペシャリティ医薬品事業グループです。患者さん中心のソリューションの強力なパイプラインを有しており、選択と集中による事業主導で新たなブランドを導入していきます。既存の専門知識に革新的な技術を導入し、このグループはテバ社がリーダーシップを発揮する治療分野において、症例数を向上させるための取り組みを継続します。

GSM と GGM は、新薬とジェネリック両方の事業において、シナジーを実現し、テバ社の豊富な製品ポートフォリオを活用するべく、密接に協力しあいます。この 2 事業の連携は、時間の経過とともにユニークかつ差別化されたビジネスモデルを創りあげます。

コーポレート・ディベロップメント、ストラテジー・アンド・イノベーション・グループ

新たに設置したコーポレート・ディベロップメント、ストラテジー・アンド・イノベーション・

グループは、短期的および長期的に価値を創造するためのテバ社のポジショニングの枢軸となる役割を担い、その役割は特に新興市場への参入の際に明白なものとなります。また、このグループは戦略と合併・買収を継続的に担当するとともに、新しいソリューションを提供するための革新的なビジネスモデル、パートナーシップやテクノロジーを探求します。彼らは新たな科学技術のトレンドを明らかにする先進的かつ構造化された方法論やプロセスを駆使し、私たちの事業と競合他社の情報にフォーカスします。

このグループのリーダーは後日、任命される予定です。

コーポレート・マーケティング・エクセレンス・コミュニケーション・グループ

テバ社は新しくコーポレート・マーケティング・エクセレンス・コミュニケーション・グループを設立します。このグループはコーポレート・コミュニケーション、コーポレート・マーケティング・エクセレンス、ブランド・マネジメント、そしてCSR（企業の社会責任）を担い、テバ社が培ってきた独自のカルチャーや伝統を活用することで、わかりやすいテバ社のストーリーを組み立て、企業ブランド・ストーリーを強化し、統一したメッセージとアイデンティティを持つ企業として世界に存在感を示します。事業に力を加味する一方で、このグループのマーケティング・エクセレンスは、患者さんや顧客を中心とした全社的なアプローチを通じ、市場志向へのシフトを推進します。

Iris Beck-Codnerがコーポレート・マーケティング・エクセレンス・コミュニケーション・グループのエグゼクティブ・バイス・プレジデントに任命されます。

グローバル・ヘッド・オブ・クオリティ

テバ社の注射剤、呼吸器とスペシヤリティ医薬品におけるグローバル・オペレーション組織の現ヘッドである **Eric Drapé** は、2014年7月1日付でグローバル・エグゼクティブ・バイス・プレジデント、グローバル・ヘッド・オブ・クオリティに任命されます。ヘッド・オブ・グローバル・クオリティとして、**Drapé** はテバの社長兼CEOである **Erez Vigodman** にレポートします。そしてTGOのCEOである **Dr. Carlo De Notaristefani** と協働します。

エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼CFOである **Eyal Desheh** は効率化プログラムを実行する責任を負います。また、継続してグローバルITを統括するとともに、新たにIR活動に対して、テバの社長兼CEOである **Erez Vigodman** とともに責任を負うこととなります。

「**Sigurdur Olafsson**氏の下で、新たに統括されるジェネリック医薬品事業は、グローバル・ジェネリック市場でのテバ社のリーダーとしてのポジションを強化するために組織設計されます。統括されたジェネリック医薬品事業は、ビジネスの成長加速、コスト競争力の実現、革

新的な価値の創造、広範かつ差別化されたポートフォリオの作成および既存の全市場でのテバ社の商業的ポジションの強化に焦点をあてます。**Olafsson**氏は彼のこれまでの製薬業界でのリーダーとしての役割を通して得た経験と知識をテバ社にもたらしめます。彼は重要な価値を創造する複雑な仕事をリードし、自身の能力を証明し続けています。彼をテバ社に迎えることは非常に幸運であり、彼がテバ社のジェネリック医薬品事業を次なる次元に導くであろうことは間違いありません」と**Vigodman**は述べています。

「新設したコーポレート・ディベロップメント、ストラテジー・アンド・イノベーション・グループは、戦略、ビジネスと技術革新、事業開発を担当し長期的なテバ社の方向性を形作るキー・ドライバーとなります。コーポレート・マーケティング・エクセレンス・コミュニケーション・グループは、ブランド・アイデンティティの新たなステージに向けてテバ社をリードし、市場志向へのシフトを推進します。企業ブランドを強く定義し、差別化することで、テバ社の世界的認知度を高めるでしょう。テバ社のブランドは独自の企業文化や伝統を反映し、会社の成長を促進する重要な役割を担うでしょう。

テバ社の将来は従業員が支えています。テバ社の新組織は、業界で最も能力に長けたリーダーシップチームの1つでしょう。このチームとともにテバ社の舵を取れば、大きな可能性を実現させることができると確信しています。私たちは有機的成長を続け、市場志向を強化するとともに、患者さん中心のソリューションの強力なパイプラインを使い、短期的にも長期的にも価値に通じる扉を可能な限り開きます」

グローバル・ジェネリック・メディスンの責任者兼CEOであるSigurdur Olafssonについて

Olafsson氏は直近ではアクタビス社の社長を務め、そこでジェネリック医薬品、ブランドド・ジェネリック、レガシーブランド、OTC事業を担当しました。彼は2010年の9月にグローバル・ジェネリック医薬品事業のエグゼクティブ・バイス・プレジデントとしてアクタビス社に入社し、2012年に同事業の社長に任命されました。アクタビス入社以前には、40カ国以上で事業展開するアクタビス社のグループ会社のCEOを務め、グローバル医薬品事業を統括しました。1998年から2003年にかけては、英国および米国のファイザーのグローバルR&Dにおける責任の範囲を年々拡げました。また、アイスランドのオメガファーマ社で医薬品開発のヘッドの経験もあります。Olafsson氏は、アイスランド大学で薬学の修士号を有しています。

コーポレート・マーケティング・エクセレンス・アンド・コミュニケーション・グループのエグゼクティブ・バイス・プレジデントであるIris Beck-Codnerについて

Beck-Codnerは、2013年4月よりテバのSVPチーフ・コーポレート・コミュニケーション・オフィサーを務めています。テバ社へ入社する以前には、マッキンゼーエリクソン・イスラエルのCEOを務め、デジタルメディアとクリエイティブ広告事業の統括責任を務めました。それ以前は、パートナーテレコムの子会社で、イスラエルにあるオレンジ・テレコミュニケーションズ社にて、マーケティングとコンテンツの最高責任者を務めました。1996年から2002年の間にはユニリーバ・イスラエルで様々な役職を歴任し、最終的にはホーム & パーソナルケア事業のゼネラルマネージャーを務めました。Beck-Codnerは、イスラエルのバーイラン大学のマーケティング & 経営管理の修士号を有しています。また、オランダにあるクリエイティブリーダーシップと社会企業家向けのTHNKスクールを卒業し、イスラエルのハイファ大学で経済学の学士号を取得しています。

グローバル・クオリティのエグゼクティブ・バイス・プレジデントであるEric Drapéについて

Drapéは、テバ社の注射剤、呼吸器とスペシャリティ医薬品におけるグローバル・オペレーション組織の現ヘッドです。彼は2013年に、テクニカルオペレーションのエグゼクティブ・バイス・プレジデントを務めていたフランスのイプセングループから、テバ社に入社しました。それ以前は、17年間に亘ってフランスとデンマークでノボノルディクス社の要職を務めました。Drapéはフランスのパリ大学で分析化学の薬学博士を取得、デンマークのスカンジナビア国際経営研究所でエグゼクティブMBAを取得しています。

エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼CFOであるEyal Deshehについて

Eyal Deshehは、2013年10月以来テバ社の暫定的CEOを務めた後、2014年2月より現職のグループ・エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼CFOに就任しました。それ以前の2012年から2013年10月まで、彼は現職と同じくエグゼクティブ・バイス・プレジデント兼CFOを務めていました。Eyal Deshehは2008年7月にCFOに就任しました。それ以前の1989年から1996年までもテバのCFOを務めており、2000年から2008年にはチェックポイント・ソフトウェア・テクノロジー社のエグゼクティブ



Japan

Press Release

ブ・バイス・プレジデント兼 CFO を務めました。1996 年から 2000 年にかけては、サイテックス社の CFO でした。彼はヘブライ大学にて、1978 年に経済学の B.A.を取得、1981 年に金融学の MBA を取得しています。